





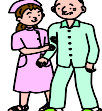








腸切除術を受けられる患者さまへ

氏名 (@PATIENTNAME)		担当医師 ()			受持ち看護師 ()				
月日	経過	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
達成目標	落ち着いた気持ちで手術を受けましょう 発熱などの風邪症状がないように しましょう	呼吸器症状(咳・痰)や発熱がなく手術を受け ることができる	痛み出現時、薬使用にて 軽減することができる	痛み出現時、薬使用にて 軽減することができる 水分を摂取できる ベッドサイドで排泄を することができる	病棟内を歩行する 事ができる	病棟内を歩行する 事ができる	院内を歩行する ことができる 流動食を摂取できる 発熱なく過ごす ことができる	発熱なく過ごす ことができる 3分食を摂取できる 食事療法について理解 することができる	発熱なく過ごす ことができる 5分食を摂取できる
治療	点滴を行います		手術後、心電図・酸素マスク をつけます	朝、酸素マスク心電図を はずし、鼻の管を抜きます 					
処置	お腹の除毛、臍のそうじを行います	午前6時に浣腸をします(便の出が悪い 時は再度浣腸をする場合があります)	手術室で鼻からチューブを 入れます	(ガーゼを防水テープに 張り替えます)		6時、10時、14時、18時に検温を行いません			
薬剤	今まで飲んでた薬があれば 医師の指示に従って下さい 昼14時、夜21時に下剤を飲みます		深部静脈血栓症予防の為、ふくらは ぎのマッサージの機械を付けます				背中痛み止めの 管をぬきます	排便確認後、 主治医により ドレーンを抜きます	
検査			点滴があります	朝、採血があります 胸部と腹部撮影があります 部屋の中を歩く練習をします 筋力練習を行います			朝、採血があります 胸部と腹部撮影があります 病院内を歩く練習をします 筋力練習をします	点滴終了予定です (主治医確認) 	
リハビリ	手術は、 時 分頃からです		痛みが強い時は痛み止めを 使います	病棟内を歩く練習をします 筋力練習をします			病院内を歩く練習をします 筋力練習をします	病院内を歩く練習をします 筋力練習をします	
安静度	病院内自由です 病棟外にでられる時は 看護師に声を かけて下さい 	トイレを済ませ、術衣 T字帯に着替え、 弾力ストッキングを着用します	ベット上安静です 	ベットを起こすことができず 調子が良ければベッドサイドに 座ったり立ったりできます (初回は看護師と一緒にしま す)	病棟内を歩行できます (初めて歩く時は看護師 が付き添います) ストッキングを脱ぎます	院内自由です (病棟外へ出られる時 は声をお掛け下さい) 			
栄養	朝から絶食になります。 夜24時までは水分は飲めます。 	水や食事をとることは できません うがいはできます 	絶飲食	医師診察後、水分が 開始になります	医師診察後、水分と 今までに飲んでた 内服薬が再開になります	医師診察後、流動食が 開始になります	3分食になります	5分食になります	
嚥下	口の動きや飲み込みの問題がないか評価 します。術後の食事開始に向けた指導も 行います					食事が安全に摂れているか 確認していきます			
清潔	手術する部位の除毛、臍のそうじ後に 入浴して下さい 			手術後はタオルで身体を 拭きます 				医師確認後、 シャワー浴をする事 ができます	
排泄			麻酔がかかった後に 尿の管が入ります	診察後尿の管を抜く予定 です ベッドサイドで排泄する 事ができます 蓄尿して頂きます	手術前と同じように 排泄することができます	蓄尿中止です			
教育	入院時オリエンテーションを行いません リハビリスタッフより術後の説明を行います 主治医及び麻酔科医が手術や 麻酔について説明します			ご本人に手術の結果の 説明をします 		食事を食べる時の 注意点について 看護師より説明が あります。			
指導	手術室看護師が訪問します								
説明									